TAKASHIMAYA

巻頭特集

髙島屋和歌山店のラストスパート!!
おかげにて41年

今年8月末をもって41年の歴史に幕をおろす事となった髙島屋和歌山店。しかし最後となるからこそ、これまで以上の気持ちとサービスで接していきたいと店長はじめスタッフ一同は意欲をみせている。地域の住民・商店とともに歩み続けてきた髙島屋和歌山店の集大成と言えるラストスパートが始まる。

閉店する最後の瞬間まで〝変わらぬ笑顔〟でお出迎え、お見送りさせていただきたい

8月末で閉店する髙島屋和歌山店（和歌山市東蔵前丁）。現在の南海和歌山ビルに移って41年間、県民のみならず県外の駅利用者らのニーズに応えてきた。しかし、売上げは1991年の約65億円をピークに下降し、10年以上も赤字が続いていたことに加え、今春の消費税増税や今後予測される不透明な消費環境の変化を鑑みて今後の見通しが厳しいと判断した。中戸秀和店長（48）は「閉店は髙島屋としても苦渋の判断でした。これから私達ができることは、これまでのご愛顧を感謝の形にして地域の皆様にお返しすることです」と全力のラストスパートを約束する。

1931年、同市七番丁に「小さいショップのようなお店」を構えたのが和歌山店の前身。48年に十番丁に移転し、52年まで営業。その後21年間の空白があって73年に現在の南海和歌山ビルで営業を再開。以降、和歌山県の玄関口の顔、身近な老舗百貨店として県民らに親しまれてきた。

統括担当の太田純子さん（43）は「20数年前はこの辺りも活気があって、駅前商店街のみなさんと夏祭りやクリスマスのイベントなどを一緒にさせてもらってにぎわっていました。そのパワーが持続せず、申し訳ない。髙島屋和歌山店のような郊外にある小規模店舗や商店街こそ地域の方々にとっては大切なものだと思います」と話し、閉店後の地域のことを案ずる。

中戸店長も思いは同じ。「3年前、初めて店長となって和歌山店を任された。当初から（閉店の）噂はあったが、何とかして盛り上げていこうと、スタッフみんなで知恵を出し合い、昨年の40周年もいいものができた」と自負するだけに今回の閉店のショックは小さくない。だからこそラストスパートは全力で挑む決意。「両親の故郷ということもあって和歌山にはすごく思い入れがある。和歌山店の最後の店長になったのも何かの縁と思っています。閉店となると、品揃えやサービスが落ちたりするケースもあると聞きます。絶対そんなことがないよう、40年以上も長い間ご愛顧頂いた皆様に『髙島屋があって良かった』と思っていただける髙島屋のスケールを生かした閉店セールをもってお別れしたいと考えています」と意気込む。

閉店セールやパネル展について話し合うメンバー

フィナーレは、本当に閉店なの？と言われるぐらい盛大に

閉店セールは「おかげにて41年」と銘打ち、大阪店をはじめ全国18店舗の協力を得ての総力戦。「同じものをのんべんだらりとするのではなく、色んな山場を設けていきたい」（中戸店長）との考えから全4回の区切りをつけた。第1弾はすでに今月11日から始まっていて26日までの2週間、1階及び3階催し会場での「龍神グルメとアートフェア（6月11日㈬→17日㈫）」をメインに各階の売りつくしセールがスタートしている。

第2弾は27日から翌月29日まで全4弾中最長の期間で和歌山店で最後となる「クリアランスセール」を開催。こども服やベビー服、リサイクル着物や和雑貨のバーゲンのほか、有名スウィーツやパンの期間限定販売などを予定。また「品切れを考えて第2弾中の商材入れ替えも考えています」と中戸店長は明かす。

第3弾は7月30日から8月19日まで婦人服のバーゲンなどを開催。そして「最後は地域との連携企画もやりたい、と考えてこれまでにも協力を頂いてきた和歌山大学観光学部の先生と学生さんたち、南海電鉄さんにもご協力頂き、南海和歌山ビルと和歌山店、市駅周辺の歴史をめぐるパネル展を行う予定です」と中戸店長が話すよう、写真展や動画など目と耳で楽しみ、懐かしむ企画を行えるよう準備を進めている。

第4弾、8月20日から営業を終える31日まで閉店セールの本当のファイナル12日間は、食料品ギフト処分市をはじめとする各階最安値のファイナルバーゲンで締めくくる。中戸店長は「買い物に行っても何もないと思われないよう18店舗の総力で商品を集め、『本当に閉店なの？』と思って頂くぐらいの最後にします」と盛大なフィナーレを約束。髙島屋和歌山店はラストスパートで「職員、販売員一同が精一杯、41年間のご愛顧をお返しさせて頂きます」。

シューフィッターの資格を持つ婦人靴売場の奥野博美さんは、誠心誠意の接客が評価され「髙島屋グッドサービス褒賞」も受賞。

勤続15年になる食料品売場の朝井香代子さん（右）。和歌山店の事を知り尽くしていて、利用客からの信頼も厚い。

人気のスイーツや和歌山の特産品など多種多様な商品がそろう1Fには、551蓬莱やサンマルコカレーなどの飲食店も並ぶ。

笑顔で来店客を出迎える中戸店長。

取材日（5/28）は「長らくのご愛顧感謝フェア」初日とあって、開店前からたくさんの人が詰めかけた。

中戸 秀和
【髙島屋和歌山店 店長】

髙島屋和歌山店の歴史パネル展開催

和歌山店閉店までの41年の足跡を、南海電鉄や和歌山大学観光学部の協力のもと、写真を中心に振り返るパネル展。
和歌山市駅周辺の未来構想などもジオラマ模型などで展示するとのこと。

場所：髙島屋和歌山店 1F 特設会場
期間：8月1日（金）～12日（火）